



注意事項：

1. 答案依序書寫於答案卷上，不必抄題。
2. 答案卷不可書寫任何可辨別個人姓名或特殊標記，違者不予計算。
3. 請於試題紙上填寫准考證號碼，繳卷時「試題」、「答案卷」一併繳回。

※注意：

1. 問題の番号を正しく書いてから、日本語で回答すること。
2. 一の「専門用語」は 30 文字以内、二の「設問」は 400 文字以内で回答すること。

一、「専門用語」：次の専門用語を簡潔に説明しなさい。($4\% \times 10 = 40\%$)

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 機会費用 | 2. FTA |
| 3. 貿易摩擦 | 4. 人的資本 |
| 5. 南北格差 | 6. 逆輸入 |
| 7. 差別化戦略 | 8. 財政赤字 |
| 9. R&D | 10. ベンチャー企業 |

二、「設問」：次の質問の 5 間から 3 間を選んで、詳しく回答しなさい。($20\% \times 3 = 60\%$)

1. 世界には様々な国が存在し、それぞれ特徴のある貿易構造をもっている。日本の貿易構造は近年急速に変化しているといわれる。その特徴を説明しなさい。
2. 日本は、戦後から 20 年ほどは世界に例を見ない高度成長をしたのはなぜか。その原因を論じなさい。
3. 2005 年の国勢調査の結果によると、同年の 10 月 1 日の日本の総人口は 1 億 2700 万人で、その前年より約 2 万人の減少となった。人口減少が日本経済にもたらす影響について述べなさい。
4. 1990 年代に入ってからのバブルの崩壊が、日本の実体経済に及ぼした影響を述べなさい。
5. 日本銀行は、「物価の安定を図ることを通じて国民経済の健全な発展に貢献すること」を理念として、金融政策を運営している。なぜ物価の安定は経済の安定につながるか、また金融政策の基本的なメカニズムについて論じなさい。